

1. チャレンジファンドの目的

私たち 2019 地域コアリーダープログラムイタリア派遣団は、事後活動の一環として、派遣の体験記を出版することとしました。体験記の出版に際し、出版や出版後の発送および活動運営等に必要な費用を捻出するため、独自にクラウドファンディングの実施と IYEO チャレンジファンドの申請を行うこととしました。チャレンジファンドを申請した目的は、活動運営の資金に充てることに加え、IYEO 会員をはじめ、より多くの方々に私たちの取り組みを知ってもらいきっかけの一つにしたいということも目的の一つでした。日本のインクルーシブ教育とは異なるイタリアのフル・インクルーシブ教育を知ってもらうためには理解者を増やす必要がありますが、自分たちの力だけでは難しいと考えています。そのため、チャレンジファンドに申請することで IYEO 会員への周知を行いつつ、理解者の拡大につながると考えました。また、クラウドファンディングのリターンでのシティーツアーや報告会などを通してさらに理解を拡げていきたいと考えています。

2. 活動内容

- 体験記の出版
- シティーツアーの開催
- 報告会の実施

3. 結果報告

●体験記の出版

令和 3 年 6 月 3 日、あけび書房より体験記を出版させていただきました。出版にあたっては、クラウドファンディングも活用し、全国各地より多くのご支援を集めることができました（支援者数 191 名）。このご支援により、インクルーシブ教育における関心の高さを知ることができ、私たちの取り組みが、今後の日本のインクルーシブ教育を再考する一つのきっかけになることを期待しています。

●シティーツアーの開催

令和 3 年 6 月 19 日に、イタリアシティーツアーをオンライン（ZOOM）で開催しました。参加者はクラウドファンディングでの支援者を中心に 11 名が参加。現地の案内は、私たちが派遣時に通訳でお世話になったイタリア在住の栗原大輔氏に依頼しました。参加者からは「貴重な体験になった」などの喜びの感想が多く聞かれました。



（図 1. 現地の様子①）



（図 2. 現地の様子②）



（図 3. ガイドの栗原氏）

●報告会の実施①

令和3年7月18日に、報告会をオンライン（ZOOM）で実施、参加者はクラウドファンディングでの支援者を中心に約30名が参加。医療関係をはじめ、教育や福祉、障害児の保護者など様々な立場の方にご参加いただいた。報告会では、メンバー2人が派遣時の様子について、動画や写真も使いながら報告を行った。



(図4. 報告会後の記念撮影①)



(図5. 報告会後の記念撮影②)

●報告会の実施②

令和3年11月14日、クラウドファンディングでご支援いただいた方の企画にてオンラインによる報告会を実施しました。当日は45名ほどの参加があり、1時間の報告と30分程度の質疑応答を行いました。

●特定非営利活動法人いねいぶるさんのイベントに出演

令和3年12月19日に、兵庫県たつの市にある特定非営利活動法人いねいぶるさんのイベントが開催され、イベントのスケジュールの中で、講演させていただきました。元々はいねいぶるさんより私たちのクラウドファンディングにご支援いただいております、今回はそのリターンとして出演の機会をいただきました。当日は45分の報告を行い、その後は参加者25名の皆さんとともにディスカッションを行いました。



(図6. 講演の様子①)



(図7. 講演の様子②)

4. おわりに

今回、チャレンジファンドおよびクラウドファンディングを活用させていただき、私たちの体験記を出版することができました。体験記の出版に際し、多くの皆様よりご支援を頂戴したこと、改めてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

今後について、次年度では今年度コロナ禍で実施できなかったクラウドファンディングのリターンとしての報告会を2件予定しています。また、次年度以降の取り組みについてもメンバー間で協議を進めており、出版した本を活用しつつ多くの方々と共生社会の実現に向けた活動に取り組んでいきたいと考えています。コロナ禍で思うように活動することができない状況が続いていますが、地域コリアーナーシッププログラムで得た知見を多くの方に知っていただけるよう歩みをとめることなく取り組んでいきたいと思っております。